

〔Ⅲ〕 次の文の（ 1 ）～（ 10 ）に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。また問A～Eに答えなさい。

19世紀後半になると、資本主義の発展にともない、A 巨大な企業が成立し、市場を独占したり、資金を貸しつける銀行を中心に企業のグループが形成されるようになった。こうした大企業は海外に資本を投下して、現地でも生産を行いはじめた。とくにアジア・アフリカ地域は列強の侵略の的となり、各国は軍事力を背景に、はげしい植民地争奪戦を展開した。このような資本主義の段階を B 帝国主義とよび、列強の対外政策を世界政策とよんでいる。なかでも C ビスマルク退陣後のドイツは、皇帝（ 1 ）のもとで積極的な海外進出をはかった。19世紀末には、フランスとロシアが露仏同盟を結んでドイツに対抗するなど、列強の利害を反映した複雑な国際関係が展開された。

ベルギー王の援助を受けた（ 2 ）らの探検で、19世紀後半にアフリカ内陸部に豊富な鉱産資源が発見されると、列強はアフリカの分割を本格化させた。インドへの通路としてエジプトを重視するイギリスは、1875年に（ 3 ）党のディズレーリ首相がスエズ運河会社のエジプト持ち株を買収して運河の経営権を握った。イギリスのエジプト進出に対抗して1881年に軍人の（ 4 ）が蜂起すると、イギリスは軍を派遣してこれを鎮圧し、エジプトを事実上の保護国とした。

また1890年代には、イギリスのケープ植民地首相（ 5 ）が大量の軍を投入して周辺地域に侵攻し、さらにソールズベリ内閣のとき（ 6 ）系移民の子孫を中心とするブール人の（ 7 ）自由国などを南アフリカ戦争で征服し、1910年に南アフリカ連邦を成立させた。アフリカ大陸を南北に貫き、インドの支配と結ぼうとするイギリスの政策は3C政策とよばれる。

1830年にシャルル10世が（ 8 ）に出兵して以降、北アフリカに植民地を拡大させたフランスは、1881年に（ 9 ）を保護国としたのち、サハラ砂漠を大西洋岸まで占領する一方、アフリカ東岸の（ 10 ）にいたる横断政策をすすめた。このためイギリス・フランス両国の軍隊は1898年に D ファシヨダで対立したが、その後イギリスはドイツの西アジア方面への進出をおそれ、E フランスはドイツのアフリカ進出を警戒し、両国の対立は緩和されていった。

〔語 群〕

- | | | |
|-------------------------|-------------------|-----------|
| (ア) ヴィルヘルム 1 世 | (イ) 労働 | (ウ) ポルトガル |
| (エ) カメルーン | (オ) リヴィングストン | |
| (カ) ウラービー (オラービー) | (キ) 自由 | |
| (ク) チュニジア | (ケ) スペイン | (コ) ローズ |
| (サ) 保守 | (シ) グラッドストン | (ス) ジブチ |
| (セ) ムハンマド = アリー | (ソ) ヴィルヘルム 2 世 | |
| (タ) トランスヴァール | (チ) ジョゼフ = チェンバレン | |
| (ツ) オランダ | (テ) リベリア | (ト) クック |
| (ナ) サイド = アリー = ムハンマド | (ニ) オレンジ | |
| (ヌ) アルジェリア | (ネ) リビア | (ノ) スタンリー |
| (ハ) フリードリヒ = ヴィルヘルム 1 世 | (ヒ) ケニア | |

問A Aについて、アメリカ合衆国でスタンダード石油会社を設立した企業家を次の(ア)～(エ)から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- | | | |
|----------|-----------|-------------|
| (ア) モルガン | (イ) カーネギー | (ウ) ロックフェラー |
| (エ) クルップ | | |

問B Bについて、『帝国主義論』を著したロシアの革命家レーニンが指導した革命組織を、次の(ア)～(エ)から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- | | |
|-------------|-------------|
| (ア) 立憲民主党 | (イ) ポリシェヴィキ |
| (ウ) メンシェヴィキ | (エ) 社会革命党 |